

安全・安心プロジェクト

概要

- 2011年3月の東日本大震災をきっかけに、災害時に商店街が求められる役割を見つめなおし、「安全・安心プロジェクト」を開始した。
- 具体的には、各店舗にラジオ・懐中電灯・ろうそくを設置し、また、各店舗が災害発生時にできること(店舗トイレや水の無償提供等)を日頃からPRする「一店一安心運動」を展開した。
- また、商店街主催で救急救命士講習会を開催し、「市民救命士」のいるお店を増やすなど、商店街自らの災害対応力を高めた。
- さらに、防災・減災の情報や知識を掲載した「安全ぶっく」を作成して地域住民に配布したり、町会や小学校と連携して「防災訓練」を実施するなど、災害への備えに対する地域住民の意識の醸成に貢献している。

主な対象

地域住民

予算額

パンフレット製作費 約50~70万円

ねらい

安全・安心プロジェクトを通して、お年寄りから若者まで世代を超えた交流を図ることで、地域のコミュニティを再構築するとともに、商店街のイメージアップ、集客力の向上を図る。

経緯

東日本大震災をきっかけに、商店街の災害対応力を強化し、地域の安全・安心に貢献していきたいと考えたから。



商店街での防災訓練の様子



防災訓練のチラシ



★苦心したこと

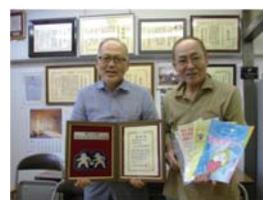
できるだけ多くの会員店舗に参加してもらうため、一店ずつ直接説明して回りました。

★工夫したこと

face to faceのコミュニケーションを心掛け、なるべく商店街関係者だけでなく、地元の自治会や学校関係者など、色々な人を巻き込むようにしました。

★事業の効果

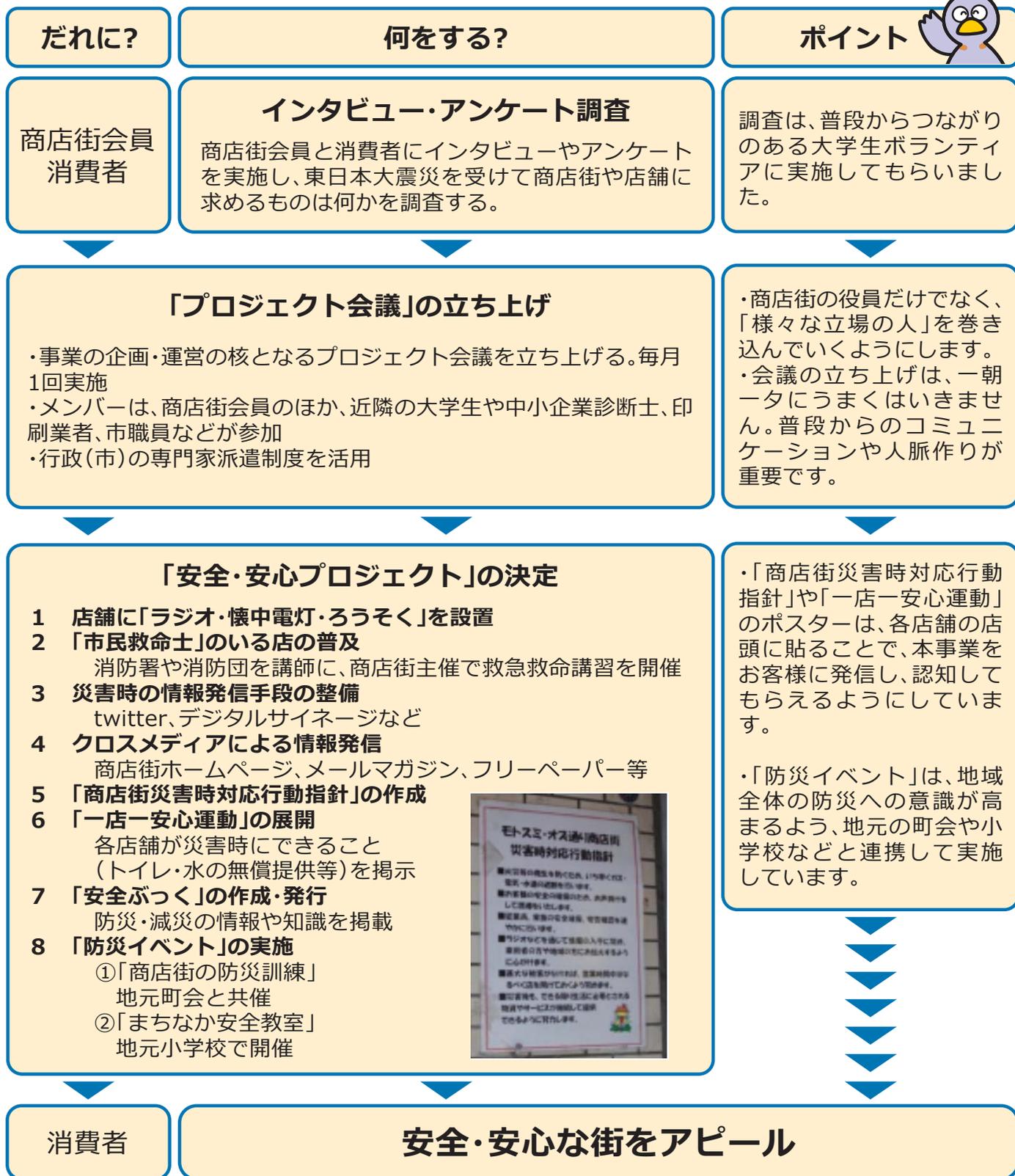
防災訓練に参加した子ども達が、後日、家族を連れて商店街に訪れてくれるようになりました。



理事長 柳沢 正高氏(左)
副理事長 中野 勝久氏(右)



実施手順





お問い合わせ先

モトスミ・オズ通り商店街振興組合
 ○所在地 神奈川県川崎市中原区木月2-3-35-505
 (東急東横線 元住吉駅東口すぐ)
 ○電話・FAX 044-411-5303
 ○ホームページ <http://www.oz-doori.com/>

